

がん細胞培養 (CTOS 法) を用いたがんの診断・治療に関する研究

1. 研究の対象

2008 年 4 月～2017 年 12 月に当院で手術を受けられ、残余組織の医学研究への利用に同意をいただいた方

2. 研究目的・方法

手術や生検時に摘出されたがん組織のうち病理診断に使用した後の残余がん組織 (腹水や胸水なども含む) から作製した、がん細胞培養物 (CTOS) を用いて、化学療法や放射線治療などの感受性試験や、遺伝子や蛋白の発現解析を行います。性質の異なる多数の CTOS からなるパネルを利用し、治療感受性を比較検討することにより、新たな診断法・治療標的の開発に向けたバイオマーカーを探索します。

研究期間：実施許可後から 2023 年 03 月 31 日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、等

4. 外部への試料・情報の提供

以前に大阪国際がんセンターで作製され、作製者の所属する京都大学に譲渡されたがん細胞培養物 (CTOS) について、病歴、治療歴を更新するための調査を行います。京都大学へのデータ提供に際しては個人が特定されないよう、個人情報の保護に十分留意します。具体的には、個人情報を登録番号に置き換えて匿名化されたデータを提供します。また、個人情報と登録番号を結びつける対応表は、大阪国際がんセンターでのみ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で研究責任者が保管します。研究成果を公表する際にも、個人名が特定されることはありません。新たな研究や京都大学以外への検体の提供は、倫理性や科学性が十分であるかどうか、京都大学の倫理審査委員会で審査を受けます。大阪国際がんセンターにある臨床情報や保存病理検体などが必要となる場合には、大阪国際がんセンターで新たに倫理審査を受けます。京都大学以外へ検体を提供する場合は、京都大学でもう一度登録番号に置き換えて二重に匿名化されたデータを提供します。こちらの対応表は、京都大学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表機関：京都大学医学研究科 クリニカルバイオリソース研究開発講座

研究代表者： 特定教授 井上 正宏

研究分担機関：大阪国際がんセンター 消化器外科

研究責任者： 副院長 大植 雅之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者： 大阪国際がんセンター 消化器外科 副院長 大植 雅之

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者：

京都大学医学研究科 クリニカルバイオリソース研究開発講座 特定教授 井上 正宏

住所：〒606-8304 京都市左京区吉田下阿達町46

-----以上